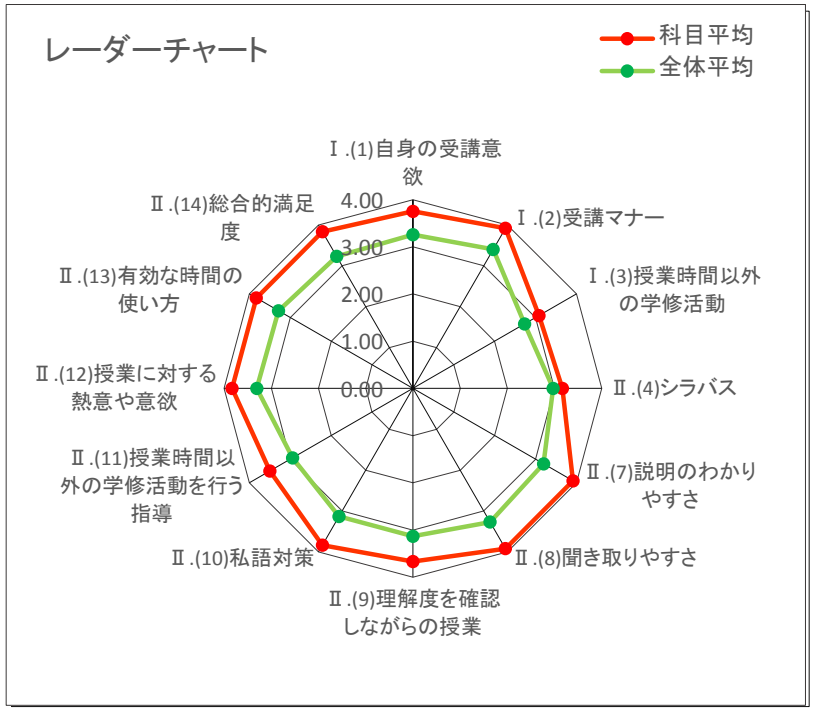
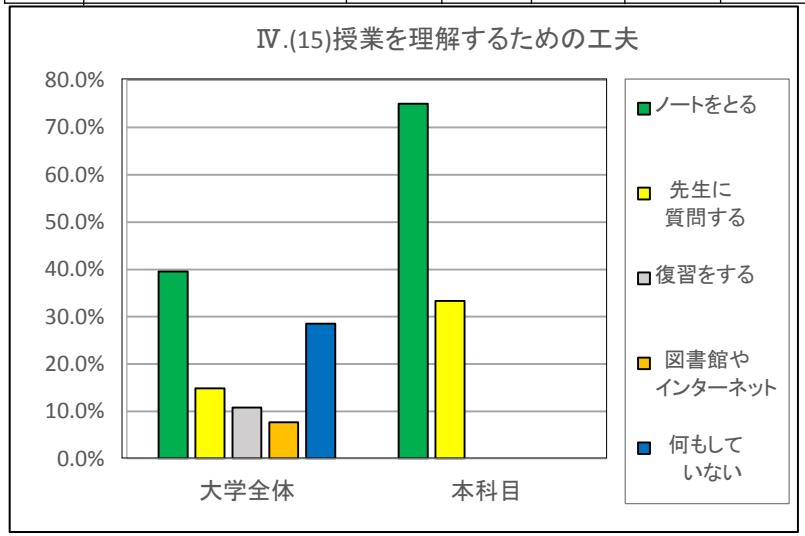
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.75	3.26
	Ⅰ.(2)	3.92	3.40
	Ⅰ.(3)	3.08	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.17	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.92	3.20
	Ⅱ.(8)	3.92	3.27
	Ⅱ.(9)	3.67	3.13
	Ⅱ.(10)	3.83	3.13
	Ⅱ.(11)	3.50	2.94
	Ⅱ.(12)	3.83	3.31
	Ⅱ.(13)	3.83	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.83	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	75.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.58	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.71	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.83	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	42312
科目名	特別活動の指導法
教員名	

①授業計画の達成度について

特別活動の目標や活動の特徴については、全員が暗記するなど内容を理解できた。しかし、特別活動はその範囲が広く、全分野を十分には、網羅できなかった。実践的な学級経営の在り方などには、力を入れて指導したので、特別活動の概要しっかりイメージできたと思う。

②授業の進め方について

最初60分間講義をして、残りの30分で800字のまとめを書くというスタイルをとった。参加型の授業を目指したので、学生が一時間に必ず1回は意見を述べる場を講義の中で設定するようにした。
最期に800字のまとめをかかせ、次の時間にフィードバックするという方法は、学生が自主的にノートを取る習慣づけになった。
一人ひとりは、個人差があるが、文章を書く力をつけたと思う。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

人数が13人と少なかったので、毎時間のレポートを添削しフィードバックできたが、人数が多いと課題となる。また人数が少ないので、一人ひとりの発言の場を確保でき丁寧な指導することができた。
目標の説明にもう少し、時間をかけたほうがよかたっと感じる。
学生個々の発言はだせたが、討論や論議させる時間が不足をしていた。
その意味では、一方的な授業になっていたと感じる。

奈良学園大学